

令和5年度 江東商業高等学校 年間授業計画（2学年用）

教科：（保健体育） 科目：（体育） 単位数：（2 単位） 対象：（第2 学年A 組～E 組）女子

教科担当者：（A組～E組：樋川 川上）

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科・科目の目標：

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質、能力を育成する。

評価の観点：

【知識・技能】：知	【思考・判断・表現】：思	【主体的に学習に取り組む態度】：主
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付ける。	運動における競争や協働の経験を通して公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人ひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元項目	学習内容	知・技		思 態	評価規準	評価の観点			配 当 時 数
			知	技			知	思	主	
1 学 期	水泳	背泳ぎ 25メートル 泳法、タイム測定	○	○	○	(知) 背泳ぎの技能について正しいイメージをもつことができる。また、ローリングを生かしたプルの動作と呼吸のタイミング、大きく強いキックの動作などの技能を修得し正しいフォームで早く、長く泳ぐことができる。 (思) 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 (主) 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止めルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや健康・安全を確保する。	○	○	○	10
	バドミントン	各種基本打法 サーブ（ロングサーブ、ショートサーブ） シングルスゲーム ダブルスゲーム	○	○	○	(知) ネット型のゲームの特性やバドミントンのルールを理解し、安全に練習やゲームを行うための正しい知識をもつことができる。 (思) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し合理的、計画的な解決に向けたと陸意味を工夫し自己の考えたことを他者に伝えることができる。 (主) バドミントンに主体的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人ひとりの違いに応じたプレイを大切にしようとする、互いに助け合い教えあおうとすることなどや、健康・安全を確保する。	○	○	○	10
	体育理論	第6章 運動やスポーツの効果的な学習方法 1. 運動やスポーツの技術と技能	○		○	(知) 様々な運動種目について、それぞれがどのような運動技術を必要とするのかについて正しい知識をもつことができる。 (思) 運動技術の種類について、自らが行ったことのある種目に当てはめて考えることができる。 (主) それぞれのスポーツ種目が、どのような運動技術を必要としているのか、積極的に学習できる。	○	○	○	5
2 学 期	バレーボール	オーバーハンドパス アンダーハンドパス サーブ サーブレシーブ 2対2、3対3、6対6のラリー	○	○	○	(知) ネット型のゲームの特性やバレーボールのルールを理解し、安全に練習やゲームを行うための、正しい知識をもつことができる。また、レシーブ・トスなどの基本を着実に身につけ、多彩な連携プレーを組み立てられるようにする。 (思) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 (主) バレーボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレーなどを大切にしようとする、互いに助け合い教えあおうとすることなどや、健康・安全を確保する。	○	○	○	13

3 学 期	テニス	基本のストローク サービス、サーブレシーブ ダブルスゲーム					(知) ネット型のゲームの特性やテニスのルールを理解し、安全に練習やゲームを行うための、正しい知識をもつことができる。また、グランドストローク・ボレー・ロビング・サービス、レシーブなどの個人的技能を身につけ、多彩なプレーを組み立てられるようにする。 (思) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 (主) テニスに自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレーなどを大切にしようとする、互いに助け合い教えあおうとすることなどや、健康・安全を確保する。				13
	持久走	周回走					(1) 自分にあつたペースを維持して一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり競走したりすることができる。 (2) 速く走るための動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 (3) 長距離走に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切に使用とすることなどや、健康・安全を確保する。				8
	バスケットボール	各種パス ゴール下シュート ドリブルシュート 2対3、3対4、4対5 6対6 ゲーム					(知) ゴールへのシュートを競い合うゲームの特性と技能の構造を正しく理解できる。また、ゲームのルールを正しく理解し、審判法を身につけることができる。さらに、パス・ドリブル・シュートなど基礎的な技能を身につけ、ゲーム中の、オフェンス・ディフェンスなどの具体的な攻防の場面を想定して、互いに協力して、有効な動きを身につけることができる。 (思) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 (主) バスケットボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレーなどを大切にしようとする、互いに助け合い教えあおうとすること (知) 球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。				8
	持久走補習										3
合計										70	